

氏名 (法人にあつては名称)	中国S C開発株式会社
住所	広島市南区松原町1-2
計画期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
基準年度(*1)	令和3年度

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上(特定事業者) <input checked="" type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上(特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	--

2 事業の概要

事業者の業種	貸事務所業 (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：6911)
事業の概要	西日本旅客鉄道株式会社の駅立地での駅ビル等の運営管理。2022年7月時点で広島市内4か所。今後、追加で2022年秋に1箇所開業、2025年1月に1箇所受電開始予定。

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制

温室効果ガスの排出抑制にあたっては、取締役を統括とし、設備管理部担当部長を推進者とする推進体制。
--

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	令和3年度	令和4～令和6年度 (平均値)	$((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量)
温室効果ガス実排出量(*5)	5,989 t-CO ₂	7,775 t-CO ₂	-29.8 %
温室効果ガスみなし排出量(*6)		7,775 t-CO ₂	-29.8 %
目標設定の考え方	2022～2024年度にかけての電力供給エリア増床予定があるため、基準年度実績に増床・新規開業分を考慮した排出量から1%削減した数値。		

*1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。

*2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。

*3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。

*4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。

*5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。

*6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標 (※任意記載)

事業分類	基準年度の実績 a		計画期間の目標 b		削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$
	令和3年度		令和4~令和6年度 (平均値)		
					%
					%
					%
原単位の指標及び 目標設定の考え方					

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の内容

・空調の設定温度の見直しによるエネルギー負荷の低減、および既存施設の照明器具をLED照明へ順次更新を中心として排出量の抑制を図る。

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の内容 (環境価値(*8)の活用等)

特になし。

(5) 温室効果ガスの排出の抑制等に関する基本方針

・不使用室の消灯等の節電を中心とした運用面での改善を各部署全員で取り組む。

5 その他の取組

・廃棄物の分別処理を確実に行う。

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。
 *8 環境価値とは、オフセットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	中国S C開発株式会社
事業所の所在地	広島県広島市南区松原町1番2号
事業所の業種	貸事務所業
事業の概要	駅ビルの運営管理

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	削減量の対基準年度比
	令和3年度	令和4~令和6年度 (平均値)	$((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量)
温室効果ガス 実排出量	5,129 t-CO ₂	5,727 t-CO ₂	-11.7 %
温室効果ガス みなし排出量		5,727 t-CO ₂	-11.7 %
目標設定の考え方	2022~2024年度にかけての電力供給エリア増床予定があるため、基準年度実績に増床・新規開業分を考慮した排出量から1%削減した数値。		

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の内容

<p>・節電によりエネルギー負荷の低減及び適正な空調温度を設定して温室効果ガス排出量の抑制を図る。</p>

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の内容 (環境価値の活用等)

特になし

2 その他の取組

<p>・廃棄物の分別処理を確実に行う。</p>
